



11.5 津波防災の日

現地踏査行動実施について

10月7日22時41分頃、千葉県北西部を震源とするマグニチュード5.9(最大震度5強)の地震が発生し、首都圏を走行する鉄道は運転を見合わせました。日暮里舎人ライナーでは車両が脱輪するなど、首都圏の交通インフラの脆さが改めて浮き彫りとなった地震でした。当日対応された組合員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

首都圏直下型地震、南海トラフ地震(連動する地震)など、私たちの働く場所で巨大地震は必ず発生をします。地震が発生したその時、あなたは会社の行っている指導や教育で自信をもってお客さまの避難誘導が出来るでしょうか?避難する判断が出来るでしょうか?今から備える必要があります。横浜地本としては、「いのちを守るための事前防災」を合言葉に、昨年は鎌倉駅周辺の現地踏査、大川小学校の踏査を実施し、組合員の防災に対する意識を高めてきました。防災の取り組みを、自分とお客さまのいのちを守るために継続的に行っていく必要があります。

11月5日津波防災の日に、東神奈川→横浜間の現地踏査行動を行います。実際に踏査して、組合員一人ひとりの防災意識を高め、何が問題なのか(気づき)、会社に何を求めるべきなのか、具体的にしていけます。全組合員の参加をお願いします。

日 時 11月5日(金曜日)

集合場所 東神奈川駅改札

集合時間 14時

行 程 東神奈川→横浜間の現地踏査

会議室にて全体議論

いのちを守るための防災行動 全組合員で取り組んでいこう!